

◆令和6年度データ連携基盤活用実証事業委託業務

No	質問事項	回答
1	<p>想定する実証サービス事例の中で、農技 C 病害リスクの情報は仕様書では見つけられませんが、どのような情報になりますでしょうか。</p>	<p>仕様書には記載がありませんが、農業技術センターが開発した病害リスク値の算出結果を格納したデータモデルの提供が可能です。詳細仕様については契約後の開示となります。</p>
2	<p>圃場環境の13社20機種の環境測定装置・正常装置やメーカーのクラウドサービスとは具体的にどのような情報でしょうか。</p>	<p>IoPクラウド本番環境に接続されている、環境測定装置及びそのクラウドサービスから連携されたデータが、仕様書記載の「圃場環境モデル」を介して取得可能です。高知県内に広く普及しているメーカーの環境測定装置になります。主なデータとしては、温度/湿度/CO2濃度が全ての装置のデータとして揃っており、メーカーによって、飽差/日射量のデータが格納されています。</p>
3	<p>以下のデータの仕様が記載されたサイトや仕様書の提供は可能でしょうか。 県/JA 地区別のデータ 気象推奨・気象アメダス WAGRI</p>	<p>詳細仕様については契約後の開示となります。 参考までに、概要は以下のとおりです。 1) 県/JA 地区別のデータ 出荷モデルのキー情報として、県/JA 地区別に出荷者番号を分類及び集計できる構造となっております。集計データはシステム側で適宜処理する必要があります。 2) 気象推奨・気象アメダス 一般財団法人気象業務支援センターから配信される「オンライン気象情報」のデータを、気象推奨モデルと気象アメダスモデルとして代表点別に使い易くモデル化してあります。 https://www.jmbasc.or.jp/jp/online/f-online0.html 3) WAGRI 農研機構が運営する「農業データ連携基盤WAGRI」から配信される「1kmメッシュ農業気象データ」を、気象WAGRIモデルとして代表点別に使い易くモデル化してあります。 https://wagri.naro.go.jp/wagri_api/1kmmesh_apiamd/</p>